

家庭

第5学年

育成を目指す資質・能力【課題発見・解決力】

題材名

## 吉田小スッキリ☆ピカピカ大作戦

～清掃の達人になって、吉田小学校をピカピカにしよう～

### 【題材の概要】

第6学年環境委員会からの清掃についての課題提起、清掃への取組状況の児童と職員の意識のずれから、児童は清掃についての課題意識をもちます。学校内の汚れ調べや汚れの観察、ゲストティーチャーからの学び等、体験的な活動を行い、「自分たちの学校をスッキリ☆ピカピカにしよう!」という目標に向けて学習に取り組みます。

### 学習指導要領における領域・内容

- C 快適な衣服と住まい (2) ア
- D 身近な消費生活と環境 (2) ア

### ◆題材の目標

- ・ 清掃に関心を持ち、場所や汚れに応じた清掃の仕方を調べるなどして清掃に取り組もうとしている。
- ・ 身の回りを点検して課題を見付け、汚れ方に応じた清掃の仕方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。
- ・ 汚れの種類や汚れ方に応じた清掃ができる。
- ・ 環境に配慮した物の使い方や生かし方ができる。
- ・ 汚れの原因や清掃の必要性、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方について理解している。
- ・ 環境に配慮した物の使い方や生かし方を理解している。

### ◆題材の展開 (全9時間)

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>課題発見, 課題の設定 (1)</b>		
清掃についての自分たちのアンケート結果を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の清掃は時間を守って黙々がんばっている。</li> <li>○気持ちよくするために清掃は大切だし必要だ。</li> <li>○清掃って時間がかかるし、めんどうだよな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 児童のアンケート結果を提示する。 (「清掃をがんばっている」9割)</li> <li>■ 教職員のアンケート結果を提示する。 (「児童は汚れを見付けて清掃をしている」3割, 「児童の清掃に期待したいことがある」9割)</li> <li>■ 「次期最高学年として、後輩を引っ張り、ずっときれいな吉田小であってほしい」という第6学年からの声かけによって、慣習化している自分たちの清掃について振り返り、高学年としての清掃に意識を向ける。</li> <li>■ 自分たちの清掃への意識のズレと可能性を自覚させ、「自分たちの学校をスッキリ・ピカピカにしよう!」という目標に向けて学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
清掃についての教職員のアンケート結果と第6学年環境委員会の最高学年としての清掃への思いを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○決まった手順で清掃できているけど、自分で汚れを見付けて清掃できていなかったんだ。</li> <li>○自分たちの清掃は何が足りないのだろうか。</li> <li>○吉田小のよき清掃のバトンを引き継いで、6年生の思いに応えたい。</li> <li>○決まり事だから清掃をしていたけれど、なぜ清掃をしないといけないのだろうか。</li> <li>○決まり事として清掃をしていたなあ。</li> <li>○自分たちで工夫して学校をきれいにする清掃ができていなかった。</li> </ul>	
課題意識をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○なぜ清掃を毎日していく必要があるのだろうか。</li> <li>○清掃をもっと自分たちで工夫して、身の回りをきれいにできないかな。</li> <li>○どうしたらもっとよりよい清掃ができるようになるかな。</li> </ul>	
	<p>第6学年からの課題提起、児童と教職員のアンケート結果の比較から、自分たちの清掃への意識のずれと可能性を自覚する。</p> <p>清掃リーダーとして他学年に清掃の大切や工夫を伝えたいという気持ちが高まってくる。</p>	
<p>吉田小の清掃の名人になって、清掃リーダーとして他学年に清掃の大切さや仕方の工夫を発信し、吉田小学校をスッキリ・ピカピカにしよう。</p>		

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>情報の収集（５）</b>		
<p>身の回りの汚れの種類や汚れ方のちがいを調べる。</p>	<p>○汚れの種類や汚れ方は、場所によって違うんだ。 ○玄関は、多くの人が出入りするの、砂やどろの汚れが多いんだね。 ○汚れには、上にのっているもの、くっついていてるもの、染み込んでいるものがあるんだ。</p> <p>！校内での汚れ調べを通して、今まで意識することのなかった汚れに気付くようになる。</p>	<p>■校内での汚れ調べ活動を通して、様々な汚れに気付かせ、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方を考えさせる。</p>
<p>汚れを観察し、清掃の役割を考える。</p>	<p>○清掃したら気持ちがよくなるだけでなく、健康にもいいんだね。 ○かびやダニが発生し、アレルギーの原因や病気になることもあるんだ。 ○毎日清掃をすることで、シミになることを防いでいたんだ。 ○汚れは時間がたつと落ちにくくなるんだ。 ○よし、学校や家を清潔に保つぞ。</p> <p>！清掃の必要性が分かり、自分達で何とかしたいという気持ちが高まってくる。</p>	<p>■単に汚れの知識だけでなく、なぜ汚れるのか、何のために清掃するのかを考えさせ、今後、家庭や地域など様々な場面で活用できるようにする。</p> <p>■清掃の役割を科学的に捉えさせることで、清掃を新たな視点で見直す視点を与える。</p> <p>■「清掃の必要性」、「汚れに応じた清掃の必要性」、「工夫した清掃の必要性」を感じさせる。</p>
<p>清掃の技を収集し（書籍、インターネット、インタビュー、ゲストティーチャー）、汚れの種類や汚れ方に応じた様々な清掃の仕方を理解する。</p>	<p>○高い所から清掃するには、理由があったんだ。 ○いろいろな清掃の仕方があるなあ。 ○窓ガラスは、新聞紙を使って拭いたらきれいになるんだって。 ○ほこりがひどい時は、濡らした新聞をばらまいて掃くといいんだ。本当にきれいになるのかやってみよう。</p> <p>！汚れの種類や汚れ方に応じた清掃への意識が高まり、工夫した清掃がしたいと思うようになる。</p>	<p>■調べ学習をしているいろいろな方法に気付くだけでなく、なぜその方法なのかを科学的に理解させる。</p> <p>■ねらいを達成するために、清掃道具レンタル会社のゲストティーチャーと綿密に打ち合わせを行う。 D(2)「環境に配慮した生活の工夫」の学習との関連を図るため、ゲストティーチャーには、市販の清掃用具や洗剤を使わずに工夫して清掃する方法や不用品を活用した方法について触れるように依頼する。</p>
<p>集めた情報を生かして、学校内の汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方を考え、身の回りのものを使った清掃用具等の準備を行う。</p>	<p>○友達の方法も試してみたいな。 ○身近なもので清掃用具を作ってみよう。 ○細かいところまで清掃をしたいから、古歯ブラシを用意しよう。 ○おばあちゃんから聞いたアクリルたわしやピカピカ棒を作ってみよう。 ○環境のことを考えて、洗剤を使わずに、重曹で清掃してみよう。</p>	<p>■清掃の工夫には、不用品を使った清掃用具を用いることで、環境教育の視点も大切にする。</p>
<p>計画・準備したことを生かして汚れに応じた清掃を行う。</p>	<p>○工夫した清掃用具できれいにできた。 ○今までよりもきれいになった。 ○この汚れは、どうやったら落ちるのだろうか。</p> <p>！自分たちが工夫した方法で、汚れが落ちたことにより実践する喜びを感じている。</p>	<p>■児童が課題を解決できた達成感や実践する喜びを味わい、次の課題に主体的に取り組むことができるようになる。</p>
<b>整理・分析（１）</b>		
<p>清掃を振り返り、成果と課題を明確にして、更に工夫できる点を見付け、活動したことを整理する。</p>	<p>○友達の行った清掃の工夫を自分も取り入れてみたよ。 ○汚れがとれなかったよ。どうすればよかったのかな。 ○冬休みの大清掃に生かしてみたい。 ○とれない汚れもあったから、早めに汚れをとることも大切だ。</p> <p>！新たな疑問が生まれ、次の課題に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>■実践したことを評価・改善したりするため、グループや学級内で交流するなどの活動を行い、児童が考えを広げたり深めたりできるようにする。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p style="text-align: center;"><b>実行（家庭での実践）</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>学習したことを生かして家庭での清掃に取り組む。(冬休み)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;"> <p>○家族の人は、いつもこんなにきれいにしてくれていたんだ。 ○今まで落ちなかった汚れが落ちて、家族の人がすごく喜んでくれた。 ○台所の汚れは、学校の汚れとは少し違うぞ。どうやったらきれいになるのだろう。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">学校での学びを家庭でも生かそうとしている。</p> </div> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■家庭や地域での実践として展開できるようにするために、児童の家庭の状況に十分配慮し、家庭や地域との連携を図るようにする。</li> <li>■家庭での清掃の経験を基に、そこを使う家族の気持ちを想像したり、協力して清掃をした感想を聞いたりするなど、実践する喜びや家族との関わりを感じさせる。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>振り返り（２）</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>家庭での実践を振り返り、これからもよりよい清掃を続けていくために必要な視点を整理する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;"> <p>○学校で行った清掃の工夫を家でもしてみたら、きれいになったよ。 ○汚れに応じた清掃が大切だし、清掃用具を工夫していくことも大切だな。このことを他の学年のみんなにも伝えていきたいな。 ○なぜ、清掃をしないといけないのかもすっかり伝えていかないといけないな。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">自分たちの実践を、吉田小のみんなに伝えていきたいという思いが高まる。</p> </div> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■「冬休み大清掃チャレンジ」の成果と課題を報告し、みんなに伝えたい清掃の工夫や、解決できなかった課題、課題への改善策について交流を行う。</li> <li>■「吉田小スッキリ☆ピカピカ大作戦」に向けて、これまでの学習を振り返り、よりよい清掃を続けていくために、具体的に全校にどのようなことを伝えていけばよいかを考えさせる。その際、「清掃の必要性の理解」、「清掃の仕方の技能習得」、「清掃道具の工夫」をポイントとして押さえる。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>まとめ・創造・表現（校内への発信）</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>全校に清掃の仕方を説明したり、各学年に手作り清掃用具を配ったりして、清掃の必要性やよりよい清掃の仕方を発信する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;"> <p>○清掃は単に汚れを取り除くだけではなく、衛生面のことを考えても大切なんだ。 ○清掃の必要性を吉田小のみんなに伝えて、清掃のやる気を高めるぞ。 ○工夫した清掃用具をみんなにも使ってもらいたいな。 ○来年は最高学年として、吉田小の清掃を引っ張っていきよ。 ○親に任せていた清掃を進んでやるようになった。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">これからも学校や家庭、地域で何ができるかを考え、行動していこうとしている。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>清掃ボランティアとして下学年と清掃を一緒に行う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 25%;"> <p>環境委員会の第6学年から思いを聴いたり、ゲストティーチャーの方から吉田小学校の清掃の仕方についての評価を聴いたりして、題材で身に付けた力を振り返る。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■体験的・実践的な活動の後に振り返りをていねいに行うことで、実践の成果と課題を明確にし、見いだした課題を解決する場を多く設定する。それにより、問題を解決する経験を積ませ、生活場面で生じる様々な問題に対する問題解決能力を育む。</li> <li>■全校児童の前で、発表する場を設定することで、学習のまとめをするとともに、次期最高学年としての意識を高める。</li> </ul>

## 【児童生徒の変容】

本題材の導入において、児童は、第6学年環境委員会からの清掃についての課題提起、清掃への取組状況の児童と職員の意識のずれから、清掃についての課題意識をもつことができた。このことにより、清掃を児童が自分ごととして捉え、「吉田小スッキリ☆ピカピカ大作戦」に向けての原動力となり、児童の主体的な学習につながったと捉えている。また、本題材では、児童は様々な方と関わりをもつことができた。導入において6年生、本校職員と関わり、展開の掃除の仕方とまとめの評価では、清掃道具レンタル会社の方々と関わった。「冬休み大清掃チャレンジ」では、清掃に協力してくださった保護者、さらには「スッキリ☆ピカピカ大作戦」で異学年と関わった。児童はこのような関わりを通して、清掃に関心をもつとともに、汚れの原因や清掃の必要性、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方について理解し、実践することができた。また、環境に配慮する大切さにも気付くことができた。そして、学んだことを異学年に伝える場を設定することで、「相手に伝えているだけでなく、清掃の大切さを自分にも言い聞かせているような感じがしました」（児童の振り返りより）と、学んだことが更に定着できたことを児童自身にも感じさせることができた。清掃の効果を試したり、改善策を見付けたりという児童同士の協働的な学びも、課題発見・解決力の育成に効果的であったと捉えている。